

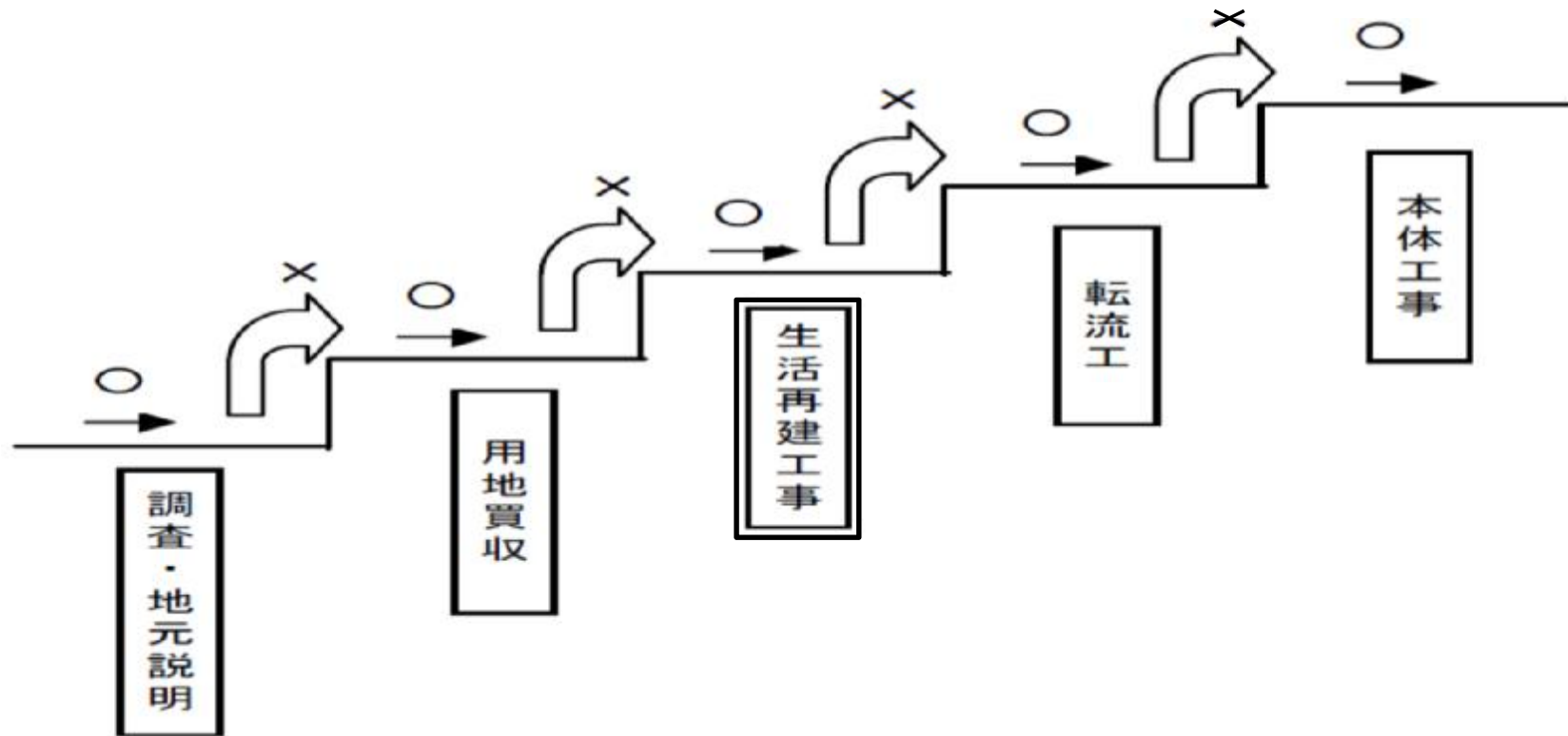
平成22年度第11回大阪府河川整備委員会

安威川ダムの事業の進め方について

平成23年3月30日(水)

大阪府都市整備部河川室

安威川ダム建設事業について



<大阪府の方針>

- ・安威川ダムの治水計画に関して、これまでの事業再評価結果を踏まえ、現在の状況により大阪府が評価したところ、その結果に変動がないことを確認した。
- ・ただし、国の検証基準に基づく治水手法の選定については河川整備委員会で継続審議となっていることから、審議完了するまで新たな段階(転流工)への着手は行わない。

安威川ダム建設事業について（H17年度評価時点と現時点の対比）

項目	前回評価(H17)	現時点(H22)	理由等
水需要予測 水源確保量	231万m ³ /日	187万m ³ /日	
府の水源地計画 安威川ダムからの給水量	1万m ³ /日	0m ³ /日	水需要予測により、既存水源量内で供給が可能となったため。
計画高水流量	(茨木川合流地点) ・900m ³ /sを250m ³ /sにカット (神崎川合流地点) ・1850m ³ /sを1250m ³ /sにカット	同左	近年の降雨データ(H16～H20)を追加して、検討を行った結果、変更なし
ダムの規模 事業費、ダム高	事業費:約1,370億円 ダム高:76.5m	事業費:約1,370億円 ダム高:審議中	利水撤退に伴う、ダム高さについては、継続審議中
費用便益分析 (B/C)	4.94	3.49※	・完成時期の延伸 ・デフレーター更新 ・利水撤退を受け、利水者負担分を治水者負担として算出
事業進捗状況 (事業費ベース)	用地:93% 工事:23%	用地:99%※ 工事:57%※	着実に進捗
上位計画	淀川水系神崎川ブロック 河川整備計画(策定中)	淀川水系神崎川ブロック河 川整備計画(H19.2策定)	

※H21年度大阪府建設事業評価委員会において提示した値

平成23年3月30日(水)に配布した資料に、
誤りがありましたので修正したものを掲載しております。

修正前



項目	前回評価(H17)	現時点(H22)
水需要予測 水源確保量	231万 m^3/s	187万 m^3/s
府の水源計画 安威川ダムから の給水量	1万 m^3/s	0 m^3/s

修正後



項目	前回評価(H17)	現時点(H22)
水需要予測 水源確保量	231万 $\text{m}^3/\text{日}$	187万 $\text{m}^3/\text{日}$
府の水源計画 安威川ダムから の給水量	1万 $\text{m}^3/\text{日}$	0 $\text{m}^3/\text{日}$